

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	★D-23-31-2, -3, -4, -5, -6, -7
事業名	気仙沼大島ウェルカム・ターミナル整備事業
事業費	総額597,740千円（うち国費478,188千円） （内訳：用地費27,176千円，設計費70,156千円，工事費500,408千円）
事業期間	平成28年度～令和2年度
事業目的・事業地区	<p>気仙沼大島の浦の浜地区において、無くなった旅客船発着港に代わる観光客を迎え入れる新たな玄関口として、来訪者及び住民の交流を促進するとともに、特色ある地域資源を活用した取組の推進により地域経済に活力と好循環を生み、もって来訪者の満足と地域の持続的な豊かさの創出につなげていくため、気仙沼大島ウェルカム・ターミナルの整備を行ったもの。（位置図は別紙のとおり）</p>
事業結果	<p>（1）敷地面積：8,979.36㎡（隣接する民間商業施設敷地を除く）</p> <p>（2）「気仙沼大島ウェルカム・ターミナル」施設概要 構造：木造平屋建て 延床面積：468.29㎡ 開館時間：9：00～17：00 販売スペース・浜焼き：「気仙沼大島地場産品出荷・販売組合」による運営 多目的スペース：大島・気仙沼魅力発信映像，大島大橋建設記録映像の上映 テラス：郷土出身の詩人「水上不二」，ひまわり号，紹介パネル等展示</p> <p>（3）経過 H28：整備計画策定に向けて地元大島地区住民との懇談会を開始 H29：整備計画の策定，用地測量等の実施 H30：造成工事に着手 H31：施設新築建築工事に着手 R2.3.8：産直店舗部分を除きオープン R2.6.6：産直店舗部分を含めオープン R2：整備事業の完了</p>
事業の実績に関する評価	<p>①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気仙沼大島ウェルカム・ターミナルは，令和2年3月8日に販売スペースを除き供用を開始したが，その後新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により，4月6日から5月末日まで休館を余儀なくされた。 ・令和2年6月には，販売スペースを含め全面的に供用を開始したが，新型コロナウイルス感染症の影響は大きく，来館者数は伸び悩み，令和2年度の合計来館者数は114,239人にとどまった。 ・令和3年度に入ると，連続テレビ小説「おかえりモネ」の放送開始や三陸道の開通などの影響もあり，4月から10月末日までに合計来館者数は183,266人を数え，一

日当たりの来館者数は前年比約1.5倍に至った。

・施設の利活用面においては、地元小学校児童や地元介護施設利用者等の作品や連続テレビ小説「おかえりモネ」関連パネルの展示を行うほか、地元の生産者を中心とする「気仙沼大島地場産品出荷・販売組合」による販売スペース及び浜焼きでの営業等の支援を行うことで、地元住民にも観光客にも満足していただけるような施設運営に努めている。

②コストに関する調査・分析・評価

・事業費の設計・積算は土木工事標準積算基準書等により実施し、気仙沼市財務規則等に基づき入札を行い、業者を選定しているため、妥当な事業費であると判断される。

③事業手法に関する調査・分析・評価

・当初平成30年度末に供用を開始する予定であったが、密接に関連する県事業（大島架橋事業）の遅れや地盤沈下の収束に想定以上に時間を要したことなどにより、整備完了予定時期は数度にわたり変更され、結局平成32年度（令和2年度）までずれこむことが見込まれた。

・そこで、もう一つの県事業（浦の浜防潮堤事業）を加えた「大島三事業調整会議」を平成29年12月に設置し、以後三事業間の調整や効率的な工事手法について協議を図ることとした。その結果、気仙沼大島ウェルカム・ターミナルについては令和元年度中に供用を開始するなど、事業の大幅な遅れを軽減させることができた。

<整備計画策定(平成29年3月)時事業期間>

- ・整備計画策定 平成28年7月～平成29年3月
- ・調査設計 平成29年4月～平成30年5月
- ・造成工事 平成30年1月～平成30年9月
- ・建築外構工事 平成30年10月～平成31年3月
- ・施設供用開始 平成31年3月

<実際の事業期間>

- ・整備計画策定 平成28年7月～平成29年3月
- ・調査設計 平成29年8月～令和2年3月
- ・造成工事 平成30年5月～令和元年8月
- ・建築外構工事 平成31年1月～令和2年2月
- ・施設供用開始 令和2年3月

事業担当部局

気仙沼市産業部産業戦略課 電話番号：0226-22-3436

位置図



★D-23-31-
2.3.4.5.6.7
整備箇所

陸中海岸国立公園

陸中海岸国立公園

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	★D-23-34-1, 2, 3												
事業名	防災集団移転先団地（面瀬・最知川原第2地区）関連歩道整備事業												
事業費	総額327,344千円（うち国費261,875千円） （内訳：用地費53,963千円，設計費31,370千円，工事費242,011千円）												
事業期間	平成27年度～令和4年度												
事業目的・事業地区	狭隘で歩道のない市道台ノ沢長平線において，歩行者・通学児童の通行の安全のため，歩道の整備を行ったもの。												
事業結果	歩車道の区別ない市道に歩道を整備した。歩道幅員W=2.5m，L=750m												
事業の実績に関する評価	<p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移転先団地及び近隣の市道整備により増加する自動車通行量のなかで，歩道を整備したことにより，歩行者の安全な通行と通学路としての安全な利用が確保された。 <p>② コストに関する調査・分析・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の設計及び工事等は，標準積算基準書等により実施し，気仙沼市財務規則等に基づき入札を行い，業者を選定し実施した。 ・また，同種の歩道整備事業と比較しても妥当な事業費であることから，適正に執行されたと判断される。 <p>③ 事業手法に関する調査・分析・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連歩道整備事業は以下のとおり <p><想定した事業期間></p> <table> <tr> <td>測量・設計</td> <td>平成27年7月～平成27年8月</td> </tr> <tr> <td>用地・補償</td> <td>平成27年8月～平成27年9月</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>平成27年9月～平成28年3月</td> </tr> </table> <p><実際に事業に有した事業期間></p> <table> <tr> <td>測量・設計</td> <td>平成28年7月～平成30年12月</td> </tr> <tr> <td>用地・補償</td> <td>平成30年7月～令和2年9月</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>令和3年11月～令和4年9月</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・測量設計・実施設計の際に国道管理者並びに交通管理者との調整に時間を要した。 ・工事は請負会社の施工体制が整わないとの理由により工事が未完了となり，再契約等により事業期間は延長となったが，工事完了することができた。 	測量・設計	平成27年7月～平成27年8月	用地・補償	平成27年8月～平成27年9月	工事	平成27年9月～平成28年3月	測量・設計	平成28年7月～平成30年12月	用地・補償	平成30年7月～令和2年9月	工事	令和3年11月～令和4年9月
測量・設計	平成27年7月～平成27年8月												
用地・補償	平成27年8月～平成27年9月												
工事	平成27年9月～平成28年3月												
測量・設計	平成28年7月～平成30年12月												
用地・補償	平成30年7月～令和2年9月												
工事	令和3年11月～令和4年9月												
事業担当部局	建設部土木課 電話番号：0226-22-6600（内線576）												

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	★D-23-39-10, 14, 18, 25
事業名	鹿折公営墓地整備事業
事業費	総額875,067千円（うち国費700,051千円）
事業期間	平成26年度～平成30年度
事業目的・事業地区	市内の鹿折地区において、震災時仮埋葬場所とした運動広場用地を被災者のため、公営墓地として整備を行ったもの。
事業結果	墓地及び付帯設備の整備、併せて、接続道路の狭隘部拡幅や待避所の設置などの道路改良を行った。 施設名：気仙沼市鹿折公営墓地 墓地区画数 517区画（一般墓所） 216基分（集合墓所） 納骨堂，駐車場，トイレ，水汲み場，四阿，調整池
事業の実績に関する評価	<p>①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <p>計画に基づき本事業を実施し、墓地を整備したことにより、市民の墓地需要に対応することが出来たと考えられる。</p> <p>②コストに関する調査・分析・評価</p> <p>東日本大震災復興交付金要綱に基づき実施しており、気仙沼市財務規則に基づき入札を行い業者選定している。</p> <p>他の請負業者が受注した同種の事業（波路上共葬墓地整備事業）と比較して、施工面積あたりの墓地整備事業費に大きな差は無く、妥当な事業費であると判断される。</p> <p>③事業手法に関する調査・分析・評価</p> <p>本事業の実施は、工事請負者と密に調整を行うことで、円滑に工事を進捗させ、概ね予定通り工事を完了することが出来たことから、事業手法としては適切であったと考えられる。</p> <p><想定した事業期間></p> <p>（平成26年度分） 測量設計発注・完了 平成26年11月～平成27年3月</p> <p>（平成27年度分） 不動産鑑定業務発注・完了 平成27年10月～平成27年11月</p> <p>（平成28年度分） 整備工事積算業務発注・完了 平成28年6月～平成29年3月 整備工事発注・工事着手 平成29年1月～平成29年1月 工事完成 平成30年2月</p>

トイレ納骨堂新築工事発注・工事着手 平成29年11月～平成29年11月
工事完成 平成30年3月
(平成29年度分)

工事監督支援等業務発注・完了 平成28年12月～平成30年1月

トイレ納骨堂新築工事発注・工事着手 平成29年11月～平成29年11月
(再掲)

工事完成 平成30年3月 (再掲)

<実際に事業に有した事業期間>

(平成26年度分)

測量設計発注・完了 平成26年11月～平成28年3月

(平成27年度分)

不動産鑑定業務発注・完了 平成27年10月～平成27年11月

(平成28年度分)

整備工事積算業務発注・完了 平成28年6月～平成29年3月

整備工事発注・工事着手 平成29年1月～平成29年1月

工事完成 平成30年12月

トイレ納骨堂新築工事発注・工事着手 平成29年11月～平成29年11月

工事完成 平成30年5月

(平成29年度分)

工事監督支援等業務発注・完了 平成28年12月～平成31年3月

トイレ納骨堂新築工事発注・工事着手 平成29年11月～平成29年11月
(再掲)

工事完成 平成30年5月 (再掲)

事業担当部局

市民生活部生活環境課 電話番号：0226-22-3417